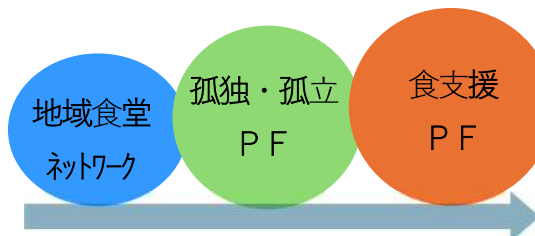


麒麟のまち「官民連携プラットフォーム」の包括化について

麒麟のまち創生戦略会議
令和 7 年 5 月 2 日
鳥取市総務部人権政策局中央人権福祉センター
外線 0 8 5 7 - 2 4 - 8 2 4 1

1 官民連携プラットフォーム形成の経過

- 令和元年度 圏域で「地域食堂」を推進することを決定
令和 3 年度 圏域に食支援ロジ・ハブ拠点を整備することを確認
令和 5 年度 圏域で「孤独・孤立対策」を推進することを決定
令和 6 年度 「食支援」プラットフォーム推進会議の開催



2 現状と課題

- (1) 「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」は、地域食堂を推進するために多様な主体が参画した官民連携プラットフォームであり、これを基盤として新たな課題に対応するため「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」、「食支援プラットフォーム推進会議」を形成してきました。
- (2) 基底を一にした 3 つの官民連携プラットフォームが存在しそれぞれに機能していますが、構成団体の重複や会議の頻回による負担が生じており、3 事業の効果的かつ効率的な運営体制と、今後新たな課題に対応するプラットフォームを構築していくことが課題となっています。
- (3) 麒麟のまち地域食堂ネットワークが任意団体であることから、休眠預金活用助成金を活用した食支援ロジ・ハブ拠点整備の際は、役員への負担や手続きに困難を極めたことから、今後の中間支援活動の強化に向けて、様々な助成金を活用していくためには法人格が望ましい。

3 包括化等の具体的内容と見込まれる効果

- (1) 「因幡・但馬麒麟のまち創生総合戦略」の重点事業の一つである「孤独・孤立対策」を中核テーマにし、それに連なる多様なテーマ（地域課題）を持ち込める場として、行政と民間等がフラットな関係で知見やリソースを共有する「包括的プラットフォーム」の常設化を図ります。
- (2) 課題解決機能を継続すること、かつ国・民間の助成金等をはじめ外部資源の活用を可能とするため、行政と民間等により構成している「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」を基盤とした法人化を検討します。

※令和 3 年度第 3 回麒麟のまち創生戦略会議において「食支援ネットワーク」整備プロジェクト提案の際に、事業成果を基盤にして地域食堂ネットワークの「法人化」を目指すことが確認されています。

4 今後のスケジュール

令和 7 年	4 月 2 4 日	政策推進会議、麒麟のまち創生戦略会議（課長会議）	令和 7 年 1 1 月	麒麟のまち創生戦略会議（最終案確認）
	5 月 2 日	麒麟のまち創生戦略会議	1 2 月～	立上げに向けた準備作業
	5 月中旬～	包括化等検討準備会（仮称）	令和 8 年 4 月～	正式稼働